

文法理解と言葉の記憶

文法を理解する能力は原因究明などに役立つ。言葉の記憶する能力とは、うだという。

別——。東京大学の酒井邦嘉・助教授と大学院生の橋本龍一郎氏は、脳

脳の活動部位異なる

の活動状態を測定する実験からこんな結論を導き出した。言語学者や心理学者らの間で長らく議論されていた問題に決着を

つける成果で、失語症の

MRIという機器を使

った。大学生十六人を対

象に様々な言語課題を取

り組むときの脳の様子を

観察した。

脳の前部（前頭葉）に

東大助教授ら発見

失語症原因究明に道

あるブローカ野という領域を含む部位が、文法的な理解を必要とする課題をこなすとき特に強く活動するのが分かった。単語を覚える際に活発に働いたのとは別の場所だった。言葉の記憶にかかわる部位とは独立に文法機能が脳の特定の場所に備わっていることを示す初の成果という。外国語の学習法を探るうえでも参考にもなるとみている。